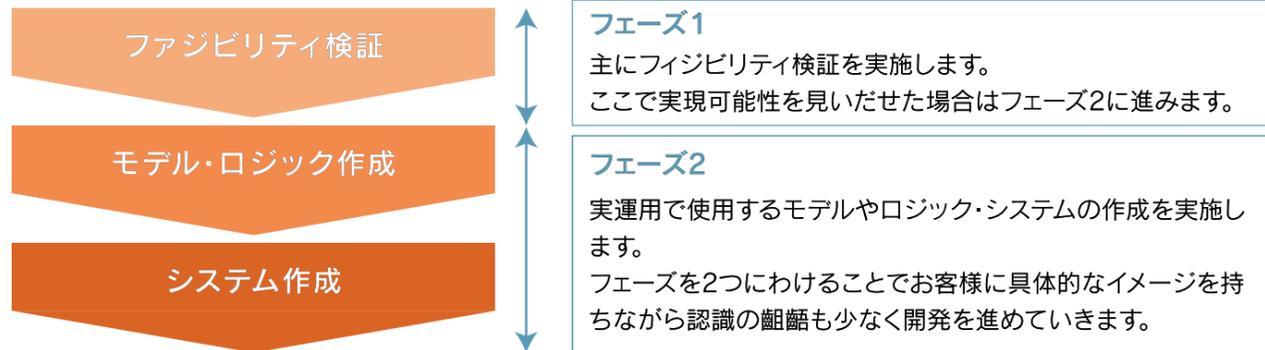


IoT.kyoto AIカメラお手軽導入パック

AIカメラを使ったPoC(実証実験)から本番実装まで実現

AIカメラお手軽導入パックとは
フェーズを以下の2つに分けてAIカメラを使ったお客様個別の課題解決をサポートします。



フェーズ1 期間:1週間~ 費用:10万円

提供いただいた画像もしくはカメラから収集した画像から検証してお客様がお持ちのビジネス課題を解決できるか見極めます
※納品物は検証レポートのみ
※AIカメラはレンタル可能

フェーズ2 期間:要相談 費用:個別見積もり

実運用できるAIカメラアプリの実装をします
推論結果に応じた画面表示やメール通知・パトランプ点灯などのアラート通知も可能です



IoT.kyoto

IoT AI DX
デジタルによるビジネス変革の「難しい」を「かんたん」に

国内・海外対応



>>>>計画立案、実証実験、本番適用までワンストップ対応<<<<<

短期間で安価にIoTのPoC(概念実証)を始められるIoTスターターパック

68,000円~

※ IoT.kyoto CurrentTIAのアナログセンサー センシングをご利用の場合



導入事例



トーア紡マテリアル株式会社 四日市工場様

AIカメラ[Vieureka]でカーペットの不良品検知を行う

AIカメラ[Vieureka]を使ってカーペットに混入した異色繊維を検知するシステムを提供しました。事前にお客様よりサンプル画像を数枚送付いただき、十分な検知が可能か事前に確認できる「AIカメラお手軽導入パック」をご用意し、トーア紡マテリアル株式会社 四日市工場様にもご利用いただきました。



IoT.kyoto データレイクおまかせパック

時系列データの蓄積と分析を一括管理、データレイクでビジネスをサポート

データレイクを構築することで、専門知識や管理者への連絡が不要となり、データを扱いたいユーザーが自由にデータ抽出できるようになるため、データ分析や機械学習に注力することができます。

BIツールと機械学習で新たなインサイトを発見

データレイクからの抽出結果を強力なBIツールと機械学習に連携することで、ユーザーに新たなインサイトをもたらします。BIツールにより、視覚的なダッシュボードやレポートを作成し、データをわかりやすく可視化します。さらに機械学習を用いることで、潜在的なインサイトを秘めている膨大な時系列データから予測や傾向を抽出し、異常検知や将来予測を実現します。人間の目では見落としていた新たなインサイトを元にビジネスの成果を最大化しましょう!



初期費用	対象1テーブルあたり	初期費用	追加費用
時系列テーブル(必須)		¥220,000	¥10,000
IoTスターターパックと同時注文		¥160,000	¥10,000
マスターテーブル(オプション)		¥40,000	¥10,000

※IoTスターターパックの費用は別途お見積もりとなります
※過去データに遡ってデータレイクを構築する場合は別途お見積もりとなります

月額プラン	テーブル数	マスタ連携	更新頻度	検索上限	Athena検索画面	クラウド/タッチ	Windows/タッチ	問い合わせ件数
スタータープラン ¥15,000	1	×	24時間	100GB	○	×	×	1
スタンダードプラン ¥30,000	3	○	12時間	1TB	○	○	○	5
プレミアムプラン ¥50,000~	5~	○	~3時間	10TB~	○	○	○	10~

※掲載している価格は全て税抜き価格です

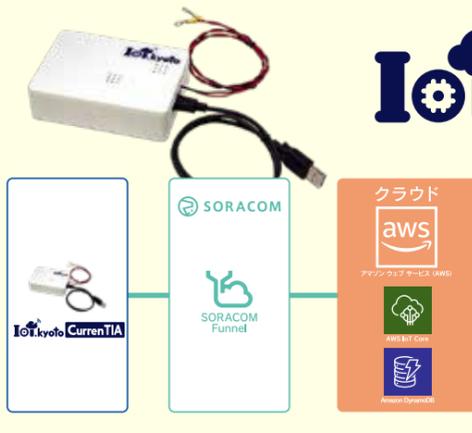


IoT.kyoto VIS IoTデータを簡単に可視化できる無料WEBアプリ

構成例



<https://iot.kyoto>



IoT.kyoto CurrenTIA

流量や振動など、アナログI/F(4-20mA)のセンサーを手軽にIoT化するためのデバイスです。オプションで熱電対や電流計測にも対応し、最大4ch(アナログセンサーの場合)まで同時に計測できます。手のひらサイズなので、場所の制約も受けません。

お見積り例(税抜き)
IoT.kyoto CurrenTIA 2ch入力+ クラウド環境構築
16万8000円

特徴



アナログセンサーを簡単にスマート化
熱電対と電流計測(CTクランプ)にも対応します



センサーと電源をつなぐだけ
SIM内蔵なのでお手軽



可視化ツール標準搭載
IoT.kyoto VISが
無料でお使いいただけます

導入事例



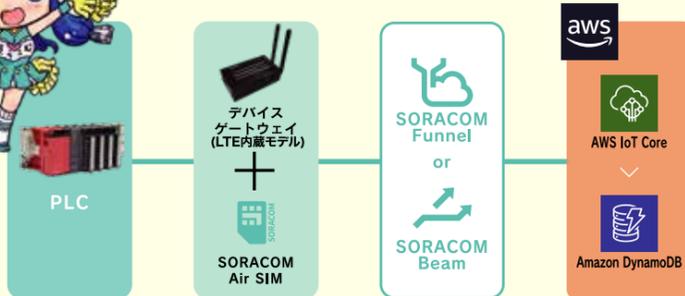
名光機器様

CurrenTIAを使って冷蔵・冷凍・空調設備の環境データを可視化

顧客に提供している冷蔵・冷凍・空調設備に IoT.kyoto オリジナル製品「アナログセンサー(4-20mA)用クラウドアダプタ CurrenTIA」を設置し、温度・湿度・圧力などの環境及び設備の状態を測るセンサーのデータを可視化。遠隔で監視できるようにし、製品の保守サービスシステムを提供する



デバイスゲートウェイ(PLCのスマート化)



PLCやデータロガー内の値を一定間隔でクラウドに送信し、蓄積します。また、クラウドからPLCのレジスタに書き込みすることもできますので、設備を遠隔で制御することもできます。

お見積り例(税抜き)
デバイスゲートウェイ + クラウド環境構築 + 現地設定費用
45万5000円

導入事例



ビオストック様

再生可能エネルギーを生み出す超小型バイオガスプラントを遠隔監視(PLC経由)し安定稼働を支援

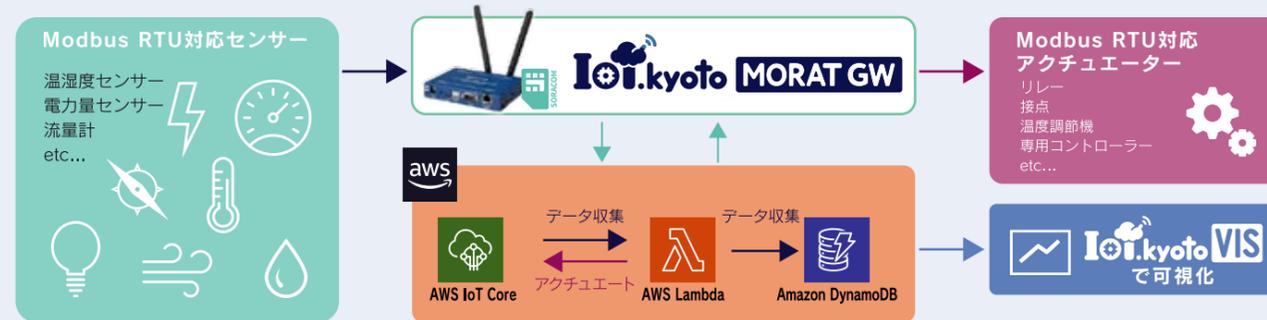
IoT.kyotoは、メタン発酵技術により、有機性廃棄物(バイオマス)からバイオガス(再生可能エネルギー)を創出する超小型バイオプラントに搭載する遠隔監視システムを提供いたしました。



Modbus RTU対応機器で手軽にセンシング&コントロール

IoT.kyoto MORAT GW

お見積り例(税抜き)
MORAT GW + クラウド環境構築 + 現地設定費用
35万円~



MORAT GW(モラット ゲートウェイ)はIoT.kyotoのオリジナル製品であり、市販のModbusRTU/アナログ信号対応センサーやリレー等のアクチュエーターをMORAT GWに接続し、一定のインターバルでセンサーデータをクラウドに送信し、またクラウドからの指示でアクチュエーターを制御します。



センシング&コントロール
シンプルで堅牢なシリアル通信プロトコルである Modbus RTU規格でデータをやり取りすることで、安定したセンシング&コントロール環境を実現



様々な通信規格のセンサー&アクチュエーターに対応
・Modbus RTU(R/W)
・アナログ(電圧/電流)入出力
・接点(DI/DO)/パルス入力
・リレー出力



無線接続対応可
無線AP/Nodeを追加することで、Modbus RTUの信号線であるRS-485を無線化することができます。Sub-GHz帯の電波を使用しますのでノイズの多い工場内でも安定した通信が可能です

特徴



センシング&コントロール



電力デマンド



AIカメラ連携



データレイク連携
機械学習による制御の最適化

USE CASE



三菱ケミカル様

MORAT GWでプラントに設置する実験設備を遠隔監視する

プラントの実験設備における各種センシング及び緊急停止を目的として、MORAT GWを導入いただきました。設備の稼働状況を監視するために温度や圧力など様々なアナログセンサーが設置されており、MORAT GWを通してクラウドに計測データを収集し、遠隔監視を行います。また、SIMが内蔵されたボタンデバイスを押すだけでどこからでも設備を緊急停止させることができます。



導入事例